

戦争と地域社会

記録が伝える

信義を世界に失ふ勿れ

常陸大宮市文書館
第18回文書館カレッジ

令和7年

8月3日(日)

入場無料

事前
申し込み不要

午後1時30分開演(午後0時30分開場)

会場

緒川地域センター文化ホール

常陸大宮市上小瀬1259

忠霊塔(油河内地区)

前半

歩兵第二連隊とペリリュー島の戦い

講師:石井 裕 氏(学習院大学史料館客員研究員/常陸大宮市史編さん委員会 近現代史部会)

歩兵第二連隊は明治7年に創設され、同42年に水戸に兵営を移転しました。

「郷土部隊」として親しまれ、昭和19年にペリリュー島で玉砕するまでの同連隊の歴史を、関係史料を中心に見ていきます。

後半

第二次世界大戦時常陸大宮の銃後

～村葬と慰霊を中心として～

講師:有薗 舟仁 氏(常陸大宮市史編さん委員会 近現代史部会)

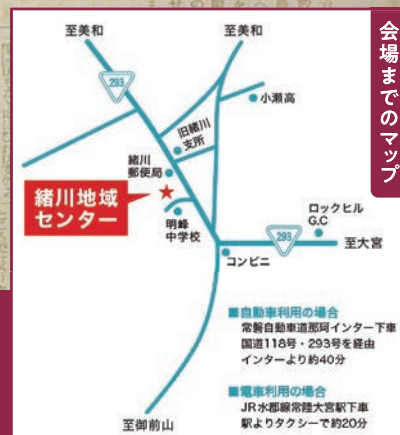
戦時中の日本は直接戦場とならなかった地域であっても、戦争を支えるための様々な活動とは無関係ではありませんでした。地域に残る史料や慰霊碑を通して、常陸大宮の銃後の様子を見ていきます。

お問い合わせ



常陸大宮市文書館

常陸大宮市北塩子1721 TEL.0295-52-0571(月曜・祝日休館)



終戦時の新聞(常陸大宮市歴史民俗資料館蔵)